

田中 愛さん(33)

—会社員、伊予市

Work life 24時



田中さんの一日

- 6:20 起床
- 6:50 朝食
- 7:40 JRで出勤

「夫が近所の保育園に2人の娘をあずけてくれます」

- 8:45 勤務開始
- 17:45 勤務終了

「買い物は宅配を利用して、時間を節約しています」

- 19:00 帰宅
- 19:30 夕食
- 20:30 洗濯など家事
- 23:30 就寝

たなか・あい 松山大経済学部卒業後、1999年に佐川印刷入社。企画課などを経て、現在デザインチームで、企業や官公庁のチラシやパンフレット、ポスターなどを手がける。

「子どもが待っているので残業はできない。限られた時間の中で、『ここまででは絶対にやる』という強い気持ちで毎日仕事に取り組んでいます」

佐川印刷(松山市閼屋町)で企業のパンフレットなどのデザインを担当する田中愛さん(33)は伊予市灘町。保育園に通う5歳と4歳の女の子の母親で、現在3人目を授かり10月に出産を控えている。「上司の配慮で比較的手間がかからない仕事に割り当てられ、午後6時には帰社できているので、とても助かっています」と笑顔を見せる。

入社後、希望通りデザイナーの仕事に就いた。学生時代は旅行が趣味。それを生かせる旅行会社のチラシを任せられ、やりがいを感じた。独身時代は夜10時、11時まで残業することも少なかった。

27歳で結婚し、翌年長女を出産した。1歳半に

家事上手に「手抜き」も

なったら職場復帰の予定だったが、次女を妊娠したまま産休・育休に。結局、復職したのは2年8カ月後だった。職場に戻ってみると、チーム編成や人事異動で環境がすっかり変わっていた。使ったパソコンのソフトもバージョンアップされていて、仕事についていけない。周囲が温かく迎え入れてくれました」

仕事と家庭を両立させるために、時間をやりくりする方法を少しずつ見つけていった。朝は自営業の夫が保育園に子どもを送ってくれ、迎える都合がつかない場合は、家事は少し手抜きして、部屋の掃除は休日にまとめてやる。買い物に行く時間が取れないので、食材は宅配を利用している。それでも「やはり大変で、特に最初の半年は寝不足とストレスで体調を崩してしまいました」

家庭を持ち子育てを経験していることが、仕事に生きている。例えばスーパーのチラシ作り。値段や家族の健康を考えたポイントを持つようになり、その情報の大切さを実感した。「子どもがいることで時間に制限はできませんが、以前より広い視野で仕事ができている気がします」

(村上直子)



「平日は仕事、休日は家事に追われ、子どもと一緒に遊ぶ時間もとても貴重です」と話す田中愛さん